

ケース会議の実施

実施場所 小学校**実施時期** 12月初旬**参加者**

校長・教頭・学級担任・特別支援教育コーディネーター・保護者
こどもの相談室「ふらっと」の職員・教育支援センターの職員
本校学校生活支援員

目的

小学校や関係機関での児童の様子を互いに伝え合ったり、
支援の方法を確認したりして、情報共有を図る。

内容

- ・前回のケース会議で確認した内容の振り返り
- ・学級での様子について(自学級の授業・友達とのかかわり)
- ・小学校での様子や支援について
(専科教員・個別指導を行った教員より)
- ・学校生活支援員から本児とのかかわりの中で見取った様子について
- ・外部機関から(教育支援センター・ふらっと)の助言
- ・保護者から家庭での様子について
- ・学年末までの支援内容(次学年へのスムーズな接続に向けて)について

成果

- ・様々な場所での児童の様子を聞き、学校では見られない新たな一面を知ることができ、児童理解が深まった。
- ・外部の教育専門機関から助言をいただき、指示の出し方やクールダウンの仕方など、効果的な支援方法が明確になった。